



簡単に操作できるため、気軽に、あるいは一時の感情に流されて書き込んでしまうことがある。デジタルデータは伝えたい内容が伝わりにくいこともあり、トラブルになりやすい。また、データ消去も難しい。

他人からは見られないはずのグループチャットの書き込みを、友達とのトラブルなどから公開されるトラブルも起きている。

**あなたの書き込みは世界中で読まれています**

**相手の立場や気持ちを考えて、書いていますか？**

**個人情報の書き込み**  
名前・顔写真・ID・メールアドレスなど他人の情報をネット上に書く、悪用されることがあります。自分だけでなく、友達の情報も絶対に出さないようにしましょう。

**人の悪口は、絶対書き込まない**  
仲間だけが見るチャットや掲示板では、軽い気持ちで書くため、間違えた情報や、相手を侮辱する書き込み・写真・動画を提示してしまうことがあります。絶対にやめましょう。

**正しい情報かどうか判断できる？**

**有害情報へのアクセス**  
ネット上には様々な情報があり、中には有害な情報も含まれています。正しい情報かどうか、有害でない情報かどうか、自分で判断する必要があります。アプリのダウンロードも同じです。自分で判断できない情報は、すぐに保護者に相談しましょう。

**メールやメッセージ**  
自分が嫌な気持ちになるメールやメッセージ(チェーンメール)やセクハラメッセージなどが送られてくることもあります。子どもになりすまされたり、間違えた情報を広げようとすることもあります。不審な内容については、保護者に相談しましょう。

**ゲームやチャットの使い過ぎ**  
ゲームやチャットを自分の意志でやめることができますか。使い過ぎると、自分ではやめることができない中毒症状(睡眠不足や精神的不安定な状態)を引き起こすこともあります。健康的な生活を送るためにも、1日に使用する時間を決めて使いましょう。

**使い過ぎには気を付けるんじや。健康的な生活が一番大切じゃぞ。**

**あなたのバランスは大丈夫？**  
ネット社会 vs 現実社会

**アイテムやスタンプなどの取得**  
ゲームをしていると、新しいアイテムが欲しくなることがあります。最初は無料でも途中から有料になることも。手に入れる際は料金に気を付けましょう。

**通信型ゲーム機や携帯型音楽プレーヤーでもスマートフォンと同様に、インターネットに接続し、サイトの閲覧、チャットや通話ができるものも多くなっています。そのため、子どもたちは保護者の知らないうちに友だちや社会の誰かとつながってしまいます。便利な反面、悪意のある人や有害情報につながる機会も多くなり、犯罪やトラブルなどに巻き込まれる可能性も増えています。現在、おじさんが家庭で使用している機器がどんな機能を持っているか確認し、フィルタリングやウイルス対策・ペアレンタルコントロールなどの機能を適切に設定していきましょう。また、使い過ぎによる依存症も増えています。将来に渡って子どもたちが被害者にも加害者にもならないために、使用する際のルールやマナーを話し合ってください。(※ペアレンタルコントロール機能→使用することができる時間やソフトなどを制限できる機能)**

H24年の年間ウイルス検出数は、約25万個。  
スマホの代表的なOS向けの不正アプリはH24年12月時点で約35万個。

病的な使用状況にある中高生は、全国で約52万人。

2ヶ月の使用で400万円の請求の例も。

国民生活センターに寄せられたオンラインゲームの相談件数。  
2009年 1437件 → 2012年 4057件

「便利さ」と依存等の「危うさ」について家庭でも話し合うことが大切です。使用時間・使用場所を決めるなど、約束づくりがポイントです。

資料1 インターネット依存症 (厚生労働省研究班調べ H25.8.1)

① 病的な使用状況にある中高生は約51万8千人と推計

今回の調査では、質問事項は8問あり、5問以上該当すると病的な使用であると定義している。

|   |
|---|
| 1. インターネットに夢中になっていると感じるか。                     |
| 2. 満足を得るために、ネットを使う時間を長くしていかなければならないと感じるか。     |
| 3. 使用時間を減らしたり、やめようとしたりしたが、うまくいかなかったことが度々あったか。 |
| 4. ネットの使用をやめようとした時、落ち込みやイライラなどを感じるか。          |
| 5. 意図したよりも、長時間オンラインの状態であるか。                   |
| 6. ネットのため、大切な人間関係、学校、部活のことを危うくしたことがあったか。      |
| 7. 熱中しすぎていることを隠すため、家庭や家族にうそをついたことがあるか。        |
| 8. 嫌な気持ちや不安、落ち込みから逃げるためにネットを使うか。              |

② 中高生の1日のネット平均利用時間 「5時間以上利用する割合」

|     |    | 平日    | 休日     |
|-----|----|-------|--------|
| 中学生 | 男子 | 8.9%  | 13~14% |
|     | 女子 | 9.2%  |        |
| 高校生 | 男子 | 13.8% | 20%以上  |
|     | 女子 | 15.2% |        |

調査期間：H24.10~H25.3

調査対象：全国の中学、高校計264校

中学生 約3万9千人

高校生 約6万2千人

## 資料2 高額請求 (「インターネットトラブル事例集 Vol.4 総務省」より)

親のカードを無断で使って有料アイテムを購入し、2ヶ月間の利用で、400万円の請求の事例。

**親のカードを無断で使って有料アイテムを購入**



アイテム GET!

**高額な請求が届き両親から厳しく怒られる**



請求書  
¥400万

高校2年生のAくんは、基本料金がかからないソーシャルゲームで遊びはじめました。ところが、ゲームを優位に進めるには、有料のアイテムを購入する必要があります。Aくんは、ゲームを優位に進めるため、お金を払って何度もアイテムを手に入れました。支払には、親のクレジットカード複数枚を無断で利用しました。

後日、2ヶ月間の利用分で400万円という高額な請求が届き、Aくんは両親から厳しく怒られました。

## 資料3 スマートフォンの所持率

(平成24年度 青少年のインターネット利用環境実態調査(内閣府)調査結果速報 平成25年1月)

|     | H23  | H24   |
|-----|------|-------|
| 小学生 | 0%   | 7.6%  |
| 中学生 | 5.4% | 25.3% |
| 高校生 | 7.2% | 55.9% |

## 資料4 スマートフォンの不正アプリ急増(「インターネットトラブル事例集 Vol.4 総務省」より)

2011年12月では約1000個だった代表的なOS向け不正アプリが、2012年12月時点で約35万個に増加。個人情報が出し、不当な請求や迷惑メールが来ることもある。

**安全を確認せずにアプリをインストール**



こんな便利なアプリが今なら無料でお得だ!

**端末から個人情報が流出・不当請求の連絡が来る**



「無料」って書いてあったのに...電話番号まで知られてる!

スマートフォンを購入したばかりのAさんは、色々なアプリを探しているうちに、スマートフォンの電池持ちがよくなるという便利そうなアプリが「今だけ無料」で提供されているのを見つけました。

Aくんはそのサイトの安全性を確認せずにアプリをダウンロードし、端末にインストールしてしまいました。

Aくんのダウンロードしたアプリはインストールすると端末から、メールアドレス、電話番号を盗み取られてしまう「不正アプリ」でした。

インストールしてからしばらくすると、Aくん宛に電話番号やメールアドレスを記載した不当請求のメールや迷惑メールが頻りに届くようになりました。

## 3. 終わりに

安全に、そして安心してインターネットを利用できる児童生徒を育てることが大切です。そのために、正しい知識とネット社会を生きるための知恵を身に付けられるよう指導・啓発していきましょう。